

な か ま

発行
(公社) 壬生町シルバー
人材センター
TEL82-4682
FAX82-4687

編集
壬生町シルバー人材
センター編集委員会

残暑お見舞い申し上げます



学童保育事業 [5 面に関連記事]



理事長あいさつ

理事長 櫻井 康雄

今年の夏は各地で四十度を超える記録的な猛暑となっており、今もまだ連日厳しい残暑が続いております。他シルバー人材センターでは、草刈作業中の熱中症による死亡事故や植木剪定作業中の転落死亡事故も発生していることから、「安全は全てに優先する」という理念のもと、当シルバー人材センターでは、この夏の野外作業は、午前中のみの作業に限らせていただきました。関係者の方々には大変ご迷惑をお掛けしました。

また、市井安全委員長をはじめ会員の皆様ひとり一人が、「安全」に対する意識を高く持ち重篤事故ゼロを目標に、十分注意して就業してくださいますようお願い申し上げます。

結びに、当シルバー人材センターの運営にあたっては、町はじめ関係機関の皆様のご理解とご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

第七回定時総会

第七回定時総会が、平成三十年六月十日(日)午前十時より、壬生町保健福祉センターで開催されました。

報告事項

- 1 平成二十九年度事業報告について
- 2 平成三十年度事業計画及び収支予算報告について

決議事項

- 1 平成二十九年度決算計算書類(監査報告)の承認について(承認)

収支計算書

(単位千円)

科 目		平成29年度決算	平成30年度予算
経常収益の部	受託事業収益	66,140	72,268
	労働者派遣事業等受託収益	1,639	1,400
	有料職業紹介事業受託収益	3	1
	受託事業収益(指定管理委託料)	2,180	2,180
	受取会費(正会費)	264	330
	受取補助金等(補助金収入)	14,200	14,200
	雑収益	21	355
経常収益計		84,447	90,734
経常費用の部	事業費	84,393	94,439
	管理費	1,773	2,353
	合計	86,166	96,792
当期経常増減額		1,719	6,058

事業実績

(単位千円)

事業実績	委託事業	シルバー派遣事業	委託事業・シルバー派遣事業
平成25年度	69,505	42,366	111,871
平成26年度	72,424	40,813	113,237
平成27年度	67,365	19,130	86,495
平成28年度	71,776	18,672	90,448
平成29年度	65,665	19,076	84,741

平成29年度会員データ

会 員 数		
男 性	女 性	合 計
126	56	182

委託事業・シルバー派遣事業の割合

委託事業		シルバー派遣事業		委託事業・シルバー派遣事業	
就業人員	就業率	就業人員	就業率	合計就業人員	合計就業率
139	76.4%	24	13.2%	163	89.6%

“事故撲滅に向けて、壬生町シルバー人材センター 会員・役職員全員で、安全対策に取り組んで参りましょう！”

全国のシルバー人材センターにおける



6月分までの累計を比較してみると、昨年度の13件に比して、10件と3件減少しています。

就業中・就業途上別にみると、就業中では昨年度の9件に比して6件と3件の減少となっており、就業途上は昨年度の4件に比して4件と同数の結果となっています。

平成30年度6月分までの累計

平成29年度6月累計					
就業中・就業途上	件数	事故の程度		性別	
		死亡	入院	男性	女性
就業中	9	5	4	9	0
就業途上	4	2	2	2	2
計	13	7	6	11	2
平成30年度6月累計					
就業中・就業途上	件数	事故の程度		性別	
		死亡	入院	男性	女性
就業中	6	5	1	5	1
就業途上	4	4	0	3	1
計	10	9	1	8	2

6月報告分までの累計対前年度比76.9%

重篤事故 (1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故)

職種・交通手段・平均年齢別事故件数

	仕事の内容	事故数(件)	男性(件)	女性(件)	平均年齢(歳)
		累計	累計	累計	累計
就業中	植木・樹木の剪定等	22(21)	21(20)	1(1)	73
	除草作業	12(6)	8(5)	4(1)	76
	屋内・屋外清掃作業	8(8)	4(2)	4(6)	72
	その他	17(12)	11(9)	6(3)	75
	計	59(47)	44(36)	15(11)	74
就業途上	徒歩	4(7)	2(4)	2(3)	74
	自転車	11(8)	2(4)	9(4)	74
	バイク	5(8)	3(3)	2(5)	76
	自動車	1(0)	1(0)	0(0)	69
	計	21(23)	8(11)	13(12)	74
合計		80(70)	52(47)	28(23)	74

合計の累計で比較してみると、昨年度の70件に比して、本年度は80件と10件の増加となっている。就業中・就業途上別にみると、就業中は12件の増加となっているのに対して、就業途上は2件の減少となっている。男女別では、男性、女性ともに5件の増加となっています。

()は平成29年度同月、累計では同月までの発生件数

平成30年度事故報告

発生日時	事故内容	職種	傷害部位および症状	備考
6/29 13:50ごろ	切れ	剪定	右足甲	脚立の2段目あたりで剪定中、ハサミを刃が開いた状態で落としてしまい、右足甲部分にあたり、切れてしまった。救急車で緊急搬送され、切れた場所が血管だったため緊急手術になり、数日間入院となった。現在、回復し就業を再開している。
7/4 10:00ごろ	蜂刺され	草刈	左手甲	草刈作業中、スズメバチに刺された。

☆就業中のみならず、仕事場への行き帰りに十分注意しましょう。

※もし、事故(傷害・賠償)が発生した場合、その事故の度合いが高い低い関係なく、必ず事務所へ連絡を入れてください！

安全パトロール

壬生町シルバー人材センター安全委員会



七月は安全就業強化月間のため、安全委員会を主として七月十八日と二十七日に安全パトロールを行いました。
今回より事前通告を行わないでパトロールに伺いましたが、各班とも、ヘルメット等の安全防護がなされておりました。
また、記録的な猛暑が続いているため、市井安全委員長より熱中症の注意喚起を行いました。

「事故〇を目指し「今気づく力」が明日の事故から仲間を救う」

ヒヤリハット 体験談



七十六歳・男性

車にガソリンを入れて、車道に出て左折しようとした時に、右方向より直進してくる車が見え、急いで車道に出ようとした時、歩道（自転車道）を左側より自転車車が来て、ぶつかりそうになり、ヒヤリとした。

☆車道に出る時は、一旦停止し左右を確認する。すべてに余裕を持ち一呼吸する。

七十二歳・男性

公園の除草作業をし、草を捨てようと思い立ち上がった時、鉄棒に頭をぶつけヒヤリとした。

☆どのような場所で作業しているか、周りの状況をよく確認して、次の動作に入る。頭上確認ヨシ！

六十八歳・男性

フェンスに巻きついた、蔓を取っていた時、アシナガバチに刺されそうになりヒヤリとした。フェンスに約十センチの蜂の巣があり、フェンスをゆすった様だ。

☆仕事する場所を十分確認し、作業する。特に夏から秋にかけて蜂の動きが活発になるので、要注意！蜂退治スプレーで処置した。

七十一歳・男性

剪定中、スズメバチが飛んでいたのに、どこからか飛んできたかと思っていた。

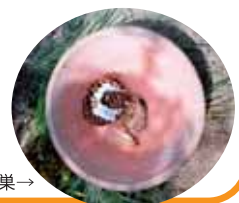
その近くに鉢が転がっており、よく見たらその鉢の底穴からスズメバチが出てきた。そのまま、知らずに作業していたらと思うとヒヤリとした。

☆作業前に、現場の確認をする。また、飛んできた蜂とは思わずに、もしかすると巣があるかもしれないと注意する。

事務局・男性

自宅の日曜大工で、古いトタンをグラインダーで切断していたところ、防護メガネをしないうで作業していたら、破片ゴミが目に入ってきた。通常のメガネをしているから大丈夫と思っていたが、隙間から入ってきた。辛いゴミが入ったぐらいの感覚だったが、これが勢いよく飛んできたらと思うとヒヤリとした。

☆通常のメガネだから大丈夫だろうと思わずに、作業の際は必ず、例えば少しの時間であっても防護メガネを着用する。



スズメバチの巣→

◎日頃の就業中や仕事に行く時の交通安全や、日常生活での出来事をもう一度振り返り、事故を未然に防ぐ為に「ヒヤリハットメモ」を活用してください。メモは事務局の窓口に（ ）ございます。

交通安全

道路横断中の交通事故に注意しましょう！

～今年も6月末現在で、8人の高齢者道路横断中の事故で亡くなっています～

栃木県内の交通事故発生状況（1～6月末）

区分	全交通事故	高齢者事故	高齢者構成率
発生件数	2,300件（-167）	825件（-33）	35.9%
死者数	42人（-2）	29人（-1）	69.0%
負傷者数	2,809人（-293）	502人（-4）	17.9%

（ ）内は前年対比数

平成30年上半期中の高齢者の死亡事故の特徴

- 高齢者の事故死者数は、29人（-1）で、全死者の約7割を占めています。
- 事故別の状態別では、歩行者15人（+4）、四輪車9人（-4）、自転車3人（-1）、二輪車2人（±0）と歩行者のみが増加しています。
- 歩行中死者15人のうち10人が夜間に事故の被害に遭っています。
 - ・17時から20時台の薄暮・夜間に歩行中の事故が集中しています。
 - ・自宅から500m以内での発生が半数以上を占めています。
 - ・横断歩道以外での横断など歩行者側の6割にルール違反が認められています。

『しっかり”止まって”安全確認』
反射材を身につける

夜はハイビーム！～こまめに切り替え～

夏野菜を食べて 熱中症予防



今年は記録的猛暑の夏となっていますが、熱中症の予防でもっとも大切なのは水分の補給です。熱中症は気が付くのが遅れがちになるため、スポーツドリンクなどでこまめな水分補給が必要です。

でも水分補給は野菜からも出来ることをご存知ですか？特に夏野菜には、水分を補充し、体を冷やす効果があります。中でもきゅうりは熱中症の予防にうってつけの野菜です。

熱中症対策に「きゅうり」がおすすめです！

きゅうりは、さっと洗えば、加熱も必要なく、皮をむく必要もないので、とっても手軽に食べることが出来る野菜です。その手軽さから、毎日のように食卓にならぶ家庭も多いのではないのでしょうか？

きゅうりは95%は水分なので、1本食べれば100cc程度の水分をとることになり手軽に水分の補給が出来ます。

また、汗で失われるカリウムなどのミネラル類も含まれているので積極的に摂りたいですね。カリウムはとりすぎた塩分を体外に排出するはたらきを持ち、血圧を下げる効果を持っているため、むくみの解消などに役立ちます。

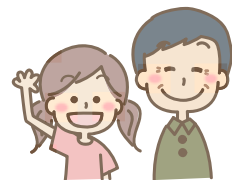
暑い夏を「夏野菜」で乗り切る

暑さで体が熱い、疲れがとれない、食欲が落ちる、こんな時は夏野菜を意識してしっかり摂りましょう。一般的に、夏野菜は体を冷やす効果があり、冬野菜は体を温める効果があると言われるます。

夏野菜だけではなく、旬の野菜は不思議と季節にあわせて体に必要な栄養を含み、自然と体に良いものになっていると気付かされます。



学童保育事業



学童保育事業は、放課後保護者等が不在で下校後の保育指導が十分受けられない家庭の児童を対象に、養育・保育及び生活指導を行い、集団生活を通じて児童の健全な育成を図ることを目的に、平成三十年四月より壬生町よりシルバー人材センターが受託し、実施しています。

児童は、おやつ時間をはさんで、学習したり、思い思いに遊んだり、指導員とともに集団生活をしながらお迎えの時間まで過ごします。

〔児童の声〕

毎日、友達と一緒に宿題したり、遊んだりしてとても楽しい。

〔保護者の声〕

安心して子供を預けることができます。

ひまわりキッズクラブを利用しない日は、「なんで今日は行かないの?」「毎日行きたい!」と聞いてきます。



新規入会希望者向け入会説明会

シルバー人材センターでは、毎月1回(月初め)町内在住の60歳以上で働く意欲のある方を対象にシルバーワークプラザにおいて、午後1時30分から入会説明会を行っております。町の広報誌にも掲載しております。



今後の予定

9月3日(月)、10月1日(月)、11月1日(木)、12月3日(月)

事務局だより

東雲公園清掃奉仕活動



毎年恒例となりました、3月24日(土)に参加者55名で、しのめ花まつり前に会場周辺のごみ拾いを行いました。

講話会・新年会



1月20日(日)に永幸にて、櫻井理事長による講話会が開催されました。第二部として会員新年会が開かれました。健康でシルバー事業をできるようにと、会員さん相互の意見交換もなされていました。

今後の予定

10月の第3土曜日は

健康ふくしまつりへの参加

10月28日(日)午前10時から：シルバーワークプラザ

襖・障子の張り替えの実演、刃物研ぎ、その他シルバー会員の作品の展示等



シルバーの日

10月20日(土)午前10時から：シルバー人材センター

奉仕活動

日頃のシルバー事業へのご支援・ご理解に対し、地域に還元するため、会員が奉仕活動を行う。(公共施設の清掃奉仕活動等を計画)



事務局紹介

- 常務理事兼事務局長…………… 神永 一三
- 職員…………… 石川 朋彦
- 嘱託職員…………… 稲葉 敏行
- 嘱託職員…………… 石塚 雅代
- 臨時職員…………… 丸山 直美

編集後記

学生は、一年の中で最も長いお休み期間となっておりますが、家族全体として生活が変わって大変なのではないでしょうか？

休みの方が塾や習い事、部活など余計ハードにこなされるお子さんもいらっしゃる様で、のんびりお家でスイカを食べる様で、なんて昔の話でしょうかね。

当センターでは、四月から稲葉小学校内で学童保育(ひまわりキッズクラブ)を受託しております。夏休み初日は、児童も、就業している会員さんも慣れていないせいで、てんやわんや？でしたが、大きな事故もなく順調に進んでいます。

なにせよ、夏本番です。今年は記録的猛暑となっております。熱中症を予防しつつ、日々の疲れを溜め込まない様に十分な栄養と睡眠を心がけ、乗り切ってくださいませ！

編集委員

- 杉田 昌道・阿久津和子
- 神永 一三・石川 朋彦